

各 位

上場会社名 小野産業株式会社
 代表者 代表取締役社長 小野 大介
 (コード番号 7858)
 問合せ先責任者 取締役 管理本部長兼経理部長 荒川 直也
 (TEL 048-926-5111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月16日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,400	△95	△135	△150	△34.99
今回発表予想(B)	3,816	△115	△127	△112	△26.61
増減額(B-A)	416	△20	8	38	——
増減率(%)	12.2	—	—	—	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	5,173	217	169	120	28.01

修正の理由

当第2四半期累計期間の業績は、米国発の金融危機が益々深刻化し世界的な同時不況とも呼ぶべき厳しい経営環境の中、RHCM(高速ヒートサイクル成形)技術等を活かした提案型営業活動により家電、エレクトロニクス等各分野で新規アイテムを受注したことなどにより、売上高は38億16百万円(前回予想比4億16百万円増)と12.2%の増収となる見込です。また、変動費を中心とするコストの見直し、たな卸資産の圧縮等に努めました。

しかしながら、世界的金融危機により退職年金資産時価の下落に伴う労務費コストの上昇約34百万円があったため営業損失は1億15百万円(前回予想比20百万円増)となりました。

また、海外投資先からの受取配当金の増加により経常損失は1億27百万円(前回予想比8百万円減)、四半期純損失は1億12百万円(前回予想比38百万円減)と改善する見込です。

なお、通期の業績予想については、変更ありません。

※ 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想と異なる結果となる可能性があります。

以上